

審議会等の会議録			
会 議 の 名 称	平成２９年度 第１回座間市住居表示審議会		
開 催 日 時	平成２９年７月２５日(火) １０時００分～１１時００分		
開 催 場 所	座間市役所 ４－２会議室		
出 席 者	春田委員 岡戸委員 浦野委員 京免委員 熊切委員 長本委員 菊地委員 大谷委員 西村委員 吉岡委員 中村委員		
事 務 局	遠藤市長 北川部長 柴原課長 本田係長 浅黄技師 青木主任 スリーエム技研（委託業者）		
公 開 の 可 否	■公開 □一部公開 □非公開	傍聴人数	なし
非公開・一部公開 し た 理 由			
議 題	入谷地区住居表示（素案）について		
資 料 の 名 称	○入谷地区住居表示（素案）について ○参考資料１ １．住居表示について ２．住居表示の実施状況 ３．住居表示の方法 ４．入谷地区の概要 ○参考資料２ 検討会とアンケートについて １．昨年アンケート ２．回収率と結果 ３．座間市入谷地区住居表示検討会 ４．地名について ○今年度アンケート ○法令集		
会 議 の 内 容 ※会議次第及び 発 言 要 旨 等	<p>部長 おはようございます。それでは、定刻となりましたので、ただ今から座間市住居表示審議会を開催させていただきます。本日は、各委員さんにおかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。</p> <p>都市部長の北川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。会議に先立ちまして、市長から皆様に委嘱状の交付をさせていただきます。自席にてお受け取りください。はじめにお名前をお呼びしますので、お受け取りください。春田様から名簿の順番にてお願い致します。</p> <p>（委嘱状の交付）</p> <p>部長 ありがとうございました。なお、委員の任期は座間市住居表示審議会規則第３条第２項及び第４条第２項により、諮問に係る審議が終了したときまでとなっておりますので、よろしくお願いします。</p> <p>それではここで、各委員の皆様の自己紹介をお願いいたします。春田様から名簿の順番にてお願いします。</p> <p>（自己紹介）</p> <p>部長 ありがとうございました。次に事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>（事務局の紹介）</p> <p>部長 それでは、開催に先立ちまして、市長より挨拶を申し上げます。</p> <p>（市長挨拶）</p>		

	<div data-bbox="395 165 448 197">部長</div> <div data-bbox="528 165 1428 394"> <p>ありがとうございました。それでは、座間市住居表示審議会規則第6条第2項によりまして、本日の委員さんの出席状況について報告をさせていただきます。本日は、委員皆様の出席をいただいております。従いまして、本日の審議会は成立いたしますので、ただ今から、座間市住居表示審議会を進行させていただきます。議事の進行につきましては、会長選出までの間、事務局にて進めさせていただきます。</p> <p>それでは、会長・副会長を選出いただきたいと思います。会則では各委員さんの互選となっております。なお、これまでの審議会の中では、会長に市議会議長、副会長には自治会総連合会会長をお願いしている経緯があります。</p> </div> <div data-bbox="395 562 448 638">委員 部長</div> <div data-bbox="528 562 1428 983"> <p>通例通りでよろしいのではないかと。</p> <p>通例に従ってというご意見をいただきましたので、よろしければ会長には京免委員様、副会長には菊地委員様ということになりますが、よろしいでしょうか？</p> <p>(一同承認)</p> <p>ありがとうございました。ご賛同いただきましたので、会長には京免委員様、副会長には菊地委員様に決定させていただきます。よろしくお願い致します。</p> <p>それでは、京免委員様と菊地委員様におかれましては、それぞれ会長席・副会長席の方へお移り願います。</p> <p>(席移動)</p> </div> <div data-bbox="395 1005 448 1037">部長</div> <div data-bbox="528 1005 1428 1131"> <p>会長、副会長が選出されましたので、京免会長からご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>(会長挨拶)</p> </div> <div data-bbox="395 1153 448 1184">部長</div> <div data-bbox="528 1153 1428 1232"> <p>ありがとうございました。副会長によろしく申し上げます。</p> <p>(福会長挨拶)</p> </div> <div data-bbox="395 1254 448 1285">部長</div> <div data-bbox="528 1254 1428 1379"> <p>ありがとうございました。恐れ入りますが、市長は他に所要がございますので、ここで退席させていただきます。</p> <p>(市長退席)</p> </div> <div data-bbox="395 1402 448 1433">部長</div> <div data-bbox="528 1402 1428 1527"> <p>それではここで、お手元にお配りしてあります資料について確認させていただきます。</p> <p>(資料確認)</p> </div> <div data-bbox="395 1550 448 1581">部長</div> <div data-bbox="528 1550 1428 1675"> <p>資料に不足ございませんでしょうか？</p> <p>それでは、以降の進行につきましては、座間市住居表示審議会規則第6条第1項に基づきまして、議長を京免会長にお願いします。</p> </div> <div data-bbox="395 1697 448 1729">議長</div> <div data-bbox="528 1697 1428 1776"> <p>それでは、これより議題に入ります。「議題1 入谷地区住居表示（素案）について」事務局から説明をお願いします。</p> </div> <div data-bbox="395 1798 448 1830">課長</div> <div data-bbox="528 1798 1428 2072"> <p>それでは議題1「入谷地区住居表示（素案）について」説明させていただきますが、その前に、住居表示事業の内容と、これまでの座間市の住居表示について、簡単にご説明させていただきます。</p> <p>まず始めに参考資料1「住居表示について」をご覧ください。左上、「住居表示のしくみ」をご覧ください。住居表示は、まず、市境や線路、幹線道路等によって“町”の区域を区切ります。次にそれぞれの町を道路等で“街区”に区切り、街区に順に番号を設定していきます。更に街区の周りに基礎番号を設定し、街区内の住</p> </div>
--	--

居について、家の出入り口の位置によって住居番号を決めていきます。これらの作業によって定められた番号をつなげたものが、住居表示による住所となります。

現在、入谷地区におきましては、ページ下をご覧ください、土地に付けられた“地番”をその上に立つ建物の住所として利用し、例えば、「1281番地の55」というような住所表記になっており、隣り合う番号も不規則となっています。これを住居表示の実施により、「1丁目8番9号」という表記とし、隣り合う住居には連続した、もしくは近い番号が付き、地域ごとにまとまりのある住所となり、街区を探し当てれば、あとは簡単に見つけることが出来る状態になります。これにより、ページ右上、緊急車両の早期到着、配達物の誤送遅配の減少、訪問者の方が探しやすく、また訪れやすいなどといったことが期待できます。

次に、参考資料1「住居表示の実施状況」をご覧ください。現在まで座間市では昭和56年の相模が丘地区に始まり、平成28年のキャンプ座間返還地を相武台としたところまで市内12の地区におきまして住居表示を実施してまいりました。これにより、平成28年4月1日現在におきまして、座間市では1757ha中、891.6ha、面積比で市全域の50.74%にて住居表示が実施されております。

以上が住居表示の概要になります。

では、次に議題についてご説明いたします。「入谷地区住居表示（素案）について」と書かれた資料をご覧ください。

【1. 住居表示の実施区域について】ですが、こちらは次項の【住居表示実施区域図】にありますとおり、現在の入谷地区の1丁目から5丁目の入谷地区全域を考えております。

次に【2. 実施区域内の住居表示の方法について】ですが、これまで実施してきました他の地区と同様に、街区方式での実施を考えております。

最後に【3. 住居表示実施に伴う町割りについて】ですが、こちらは最後ページにある【町区域変更図】に記載しております通り、小田急線、大きな道路を基準に、旧丁目も考慮に入れ、入谷地区を9つに分けたいと考えております。これにより、小田急線より東側は4つ、小田急線より西側は5つに分かれることになります。

また、町名についてですが、これについては、8月に実施する町名アンケートの結果を受けて、案を決定したいと考えております。

なお、入谷地区における住居表示の実施時期についてですが、入谷地区は対象面積が広く、単年度での実施となると事務量や事業費が多大なることから、小田急線より東側を30年度の31年2月、小田急線より西側を31年度の32年2月とする、2か年に分けた実施を考えております。

素案をご紹介させていただきましたが、今回素案を設定いたしました経緯につきまして、ご説明させていただきます。まず先に、【2. 実施区域内の住居表示の方法について】ご説明させていただきます。ここで提案いたしました街区方式ですが、参考資料1「住居表示の方法」と記載されました資料をご覧ください。住居表示の実施方法についてですが1に記載されておりますとおり、“街区方式”と“道路方式”の2つがございます。街区方式は、先ほど「住居表示のしくみ」にて説明させていただいたように、街区を区切って番号を付け、その中の住居に番号を付けていくという方法です。日本では道路事情や、町名と番地から住所を表すという慣習があることから、ほぼ全ての地域で街区方式が採用されており、座間市でもこれまで街区方式にて実施してきております。道路方式は主に欧米にて採用されている方式で、道路を基準とし、その沿道の住宅に順番に番号を振っていくという方式です。入谷地区におきましても、他の地域との整合性や、分かりやすさから街区

方式にて実施したいと考えております。

次に、【1. 住居表示の実施区域について】と【3. 住居表示実施に伴う町割りについて】併せて、ご説明いたします。参考資料1「入谷地区の概要」をご覧ください。

【1. 位置】にありますとおり、市庁舎の南西方向に位置しております。東側は、緑ヶ丘一丁目、立野台、西栗原二丁目に、南側は、海老名市に、西側は、座間2丁目、四ツ谷に、北側は、座間1丁目、キャンプ座間、明王、緑ヶ丘五丁目、六丁目に接しています。【2. 経緯】といたしまして、もともとは座間入谷、座間、栗原、四ツ谷、明王、緑ヶ丘など大字が入り組んで混在する地域だったものを、昭和51年11月に町名変更を実施し、現在の入谷1丁目から5丁目の形となっております。【3. 住居表示の必要性】としましては、町名変更を実施しました昭和51年ごろ（昭和52年10月現在）の人口が10,189人であった地区が、平成29年4月現在では人口18,283人を数え、約1.8倍に増加しています。人口の増加に伴い、世帯数は現在8,415世帯を数え、土地の分筆・合筆が繰り返された結果、町名変更により解消された地番の混乱が、再び起こっている状況です。この問題を解消するため、入谷地区全区域での住居表示実施の必要性を感じております。【4. 地域の現状】についてですが、面積、人口、世帯数は表の通りでございます。2丁目、3丁目、5丁目の一部が市街化調整区域となっており、3丁目の大部分は県立座間谷戸山公園となっております。入谷地区のほぼ中央に小田急線の線路があり、3丁目と5丁目の中を通っております。また、1丁目、3丁目の中を主要地方道県道町田厚木線が通っております。このように丁目のなかを線路や大きな道路が通っているため、分かりやすい住所とするには、町割の検討も必要であると考えております。また、町割の検討となれば町名についての検討も必要となります。

今回、座間市では、これら「実施」「町割」「町名」などについて、広く市民の方の声を参考にし、事業を進めて行こうと考え、平成27年から、入谷にお住まいの自治会の方や商工会の方を中心に14名で構成されたワークショップ形式による市民参加型の検討会を設置、また、制度等を市民の方に広く知っていただくことも含め、入谷地区全世帯、事務所、店舗を対象にした住居表示に関するアンケート調査も行っております。

検討会では、現在まで計8回開催されており、町割案、アンケート内容や結果について、議論していただき、様々な意見のもと、事業を進めてまいりました。

アンケートについては、昨年夏に実施し、これは主に実施の是非を問う内容であり、また、その結果を受け、本年度も8月以降、昨年度の結果をお知らせするとともに、町名を問うアンケートを実施いたします。

検討会とアンケートについては、座間市ホームページに掲載されておりますので、詳細については、省略させていただきますが、今回の議案に関わる内容について、ホームページから抜粋し、ご説明いたします。

参考資料2「検討会とアンケートについて」をご覧ください。

昨年夏実施いたしましたアンケートをご覧ください。表紙が1枚に、アンケートに関する資料が4枚となっています。これを入谷地区全体を対象にポスティングで配布いたしましたが、内容は、制度や市の実施状況、必要性や実施後にやっていただくことを説明、検討会や町割案についても説明し、最後にアンケートにお答えいただくといった内容となっております。実は、今回、最初の説明に使用いたしました資料は、昨年夏のアンケートの資料に若干変更を加えたものでございます。

次のページ、回収率と結果については、ご覧の資料のとおりでございますが、注

目していただきたいのが、集計結果にある問8から問10でございます。結果が示す通り、多くの方が住居表示の制度についてご存知なく、また、実施区域と未実施区域があることもご存知ありませんでしたが、問9、その方々の約9割からこのアンケートによって制度を「理解した」、または、「大体理解した」との回答をいただきました。よって、問13「住居表示を実施することをどう思いますか」の結果での、「賛成 30.4%」「どちらかといえば賛成 18.5%」「どちらかといえば反対 16.1%」「反対 17.1%」「どちらでもよい 16.6%」と、「賛成方48.5%」「反対方33.2%」と賛成が上回っておりますが、そのいずれも、ほぼ制度を理解していただいたうえで、回答していただいたと考えております。ちなみに、「どちらでもよい」との回答の方も理解していただいたうえでの「どちらでもよい」ということになります。

これら結果を受け、検討会で議論いたしました。次項「座間市入谷地区住居表示検討会」の1ページ目の「座間市入谷地区住居表示検討会ワークショップ」をご覧ください。検討会では「制度を理解したうえでの賛成多数なら実施することに問題ないのではないか」との意見をいただき、どのグループからも実施について賛成をいただきました。市もこれについて同意見でございました。

次に町割案でございますが、2ページ目の「座間市入谷地区住居表示検討会ワークショップ」をご覧ください。町割につきましては、検討会で当初から議論してきた課題であります。昨年アンケートに載せました案は、それまでの各グループの共通項をもとに事務局が作成した案を検討会での新町割案として掲載したものでございます。その後、今年の2月、第7回目の検討会にて、これまでの集大成として検討会から提案していただいた案が、右側、町割を9分割にする修正案でございます。内容は、座間市住居表示整備実施基準を参考にし、小田急線、大きな道路を基準に、旧丁目も考慮に入れ、9分割したものでございます。市もこれに異論がございませんでしたので、提案していただいた案を市でも採用し、今回、町割案としてご提示いたしました。

なお、時期については、先ほどお伝えしたとおり、小田急線より東側を30年度の31年2月、小田急線より西側を31年度の32年2月とする、2か年に分けた実施を考えておりますので、この図で言いますと、㉠～㉣を31年2月に、㉤と㉥～㉧を32年2月ということになります。

最後に、町名変更についてですが、大変苦勞している所でございます。参考資料2「地名について」に記してありますように座間入谷から続く、入谷の文字は大変古くからあり、地域の方にも愛着のある名前であると思います。一方で、町割を変えた場合、入谷の町名を何も変えないままだと、例えば、実施前が「入谷3丁目1234番地の5」、実施後が「入谷3丁目1番2号」となったりと、一瞥しただけでは容易に判断できないことになりかねず、また、昨年のアンケート問14「賛成・どちらかといえば賛成を選んだ方へ住居表示を実施した場合、町名が増え、入谷の名称が変更される可能性もありますか」の問いに、「変わってもよい 51.5%」「どちらかといえば変わってもよい 18.0%」「どちらかといえば変わってほしくない 17.6%」「変わってほしくない 8.3%」「どちらともいえない 2.6%」と変わってもよいと思う方が多数いたのも事実でございます。

そこで、市では、今年の夏に昨年度の結果をお知らせするとともに、町名を問うアンケートを実施し、この結果を参考に町名案を決定することといたしました。今回、実施するアンケートを配布しておりますが、質問内容は、入谷の名を残しながら、新旧を区別する方法として、入谷の頭または後ろに東西の文字を付ける案を提

示しつつ、他に意見があれば回答はがきに記載していただくといった内容です。その後、結果を検討会に持ち込み、検討会の意見をいただき、市としての案を決定、次回の審議会で皆様にご提示したいと考えております。

以上、議題1「入谷地区住居表示（素案）について」説明を終わります。

議長 ありがとうございました。ただ今事務局より説明がありましたが、これより質疑に入りたいと思います。質疑をお願いいたします。

委員 これはもう2ヵ年で、小田急線で区切って30年度、31年度の2ヵ年で実施するというのは、決まったことなののでしょうか、これを変えることは出来ないのでしょうか。

課長 小田急線で区切りまして、東側を30年度、西側を31年度に実施していきたいと考えております。

委員 変えることができないということですね。

 小田急線で実施年度を分けると混乱を招く可能性があるのでは。小田急線を跨いで存在する自治体もあるので、東側だけ先にやるとかではなく、私の意見なのですが、30年度と31年度に分けるのであれば、まとめて31年度にやった方が混乱を招かないと思うが。1丁目や4丁目は良いですが、3丁目と5丁目は小田急線を跨いでいる自治会もありますし。そのように感じたのですが、もう決まっていることなののでしょうか。

課長 実施年度につきましては、先ほどご説明しましたとおり、東側を30年度、西側を31年度ということをお願いしております。

委員 私、入谷第1地区の自治会連合会会長をやっております。委員の言っていることも分かるのですが、自治会というのは会員で構成されていますから、住所とはあまり関係ないんですね、たしかに変わったところと、変わっていないところと別々にひとつの自治会というのは不便かもしれませんが、実際としては問題ないと思います。私はそう思います。

議長 ありがとうございます。他にありますか。住居表示の説明で、もう少しこの部分聞きたいなということがございましたら。

委員 新しい地名ですけど、ある程度、東・西とかつけるじゃないですか、アンケートとるのは分かるんですけど、だいたい、どのような形に持っていこうという素案はあるんですか。

課長 町名につきましては、今後のアンケートの結果によって検討していきたいと思っております。

委員 特に素案はなしですか。

部長 あります。アンケートの中でお示しをさせていただいておりますけれど、ピンクの封筒をお開きいただいた中で、ページ4というのがこちらにあると思います。アンケートの中で案1・案2という事で、一応事務局素案という形は、全くないと皆さん分からないと思いますので、あくまで案としてこんな形で載せさせていただいております。

 先ほどの質問でございますけど、2ヵ年によってという事でお話がございましたけれど、住居表示の検討会の中でも調整をさせていただいて、また市の内部でも財

	<p>政部門とか、その他色々なところに影響してきます。戸籍住民の関係とか、国保年金課の関係とか、色々なシステムの入れ替えとかも発生しますので、庁内で調整させていただいた実施計画の中で、30年度、31年度の2カ年で実施をやりたいということで、今、進めさせていただいております。これにつきましては決定しておりますので、変更は出来ませんのでよろしくお願いします。</p>
議長	<p>他に質疑はございますか。</p> <p>よろしいですか。他に質疑がないようですので、質疑を終結させていただきます。よろしいでしょうか。以上を持ちまして、本日予定をしておりました議事を終了させていただきます。</p> <p>これからの進行を、事務局にお返しします。</p>
部長	<p>皆さんありがとうございました。さまざまな意見をいただきましたけれど、最終的に進め方は、今、私の方で説明させていただきましたとおりでございます。今後また8月には、皆様入谷地区にお住まいの方にアンケート調査を行わせていただきますが、その中でいただいた意見を基に、市の方でまた、案を示させていただいて、本審議会の方にお示しをさせていただきたいと思います。そこでご了解をいただければ、諮問・答申ということで、お答えを返していただきたいと、このような予定で今考えております。</p> <p>その他といたしまして、事務局より今後の予定について説明させていただきます。</p>
課長	<p>今後の予定についてですが、先ほどからお伝えしておりますとおり、8月から町名に関するアンケートを行います。その後、10月に検討会で結果について議論、町名案について決定し、11月に第2回の住居表示審議会を開催し、改めて、諮問答申をいただきたいと考えております。その後、議会への議決等を経て、来年度の31年2月から順次実施していきたいと考えております。以上です。</p>
部長	<p>その他といたしまして、皆様何かご意見等ございますでしょうか。</p> <p>それでは特に無ければ、これで平成29年度第1回座間市住居表示審議会を閉会させていただきます。</p> <p>本日は、お忙しいところどうもありがとうございました。</p>